

北上川流域(下流)・鳴瀬川流域の河川・水路の油流出に対応するため、「水質事故対応講習会」を開催します

暖房のため灯油、重油等を扱う機会が多くなるこれからの時期、油の流出に伴う水質事故が多く発生しております。

そこで、事故発生時の円滑な対応を図るため、油や危険物が流出した際の対応作業を、県・市町村・水道事業者・消防の職員等が体験し、水路や河川への油等流出・拡散防止方法を習得するための水質事故対応講習会を開催します。

【水質事故対応講習会】

- ◆日 時： 令和2年10月6日(火) 13時30分～15時30分(※小雨決行)
※悪天候や突発的な災害が発生したときは中止する場合があります。
- ◆場 所： 大崎市 鎌田記念ホール 駐車場
(住所) 大崎市鹿島台木間塚字福芦335番地1
- ◆内 容： ①異常水質時の対応(13:35～13:45頃)
②水質事事故事例に基づいた水質調査(13:45～14:00頃)
③油処理にあたっての留意事項(14:00～14:20頃)
④油を効率良く回収する方法(14:20～14:45頃)
⑤吸着型オイルフェンスの設置(14:45～15:25頃)
※時間帯は目安です。④、⑤は、講習参加者が体験して実施します。
- ◆参加者数： 各水質汚濁対策連絡協議会の構成機関職員、委託業者 約100名
※参加者には、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮し、マスク着用等の対策を実施して講習会に参加していただきます。
- ◆水質汚濁対策連絡協議会構成機関
 - ・北上川水系水質汚濁対策連絡協議会下流支局 (※：江合川及び鳴瀬川流域の協議会の構成機関でもある)
石巻市(※)、登米市、栗原市、石巻地方広域水道企業団(※)、石巻地区広域行政事務組合消防本部(※)、登米市消防本部、栗原市消防本部、宮城県(※)、宮城県警察本部(※)、東北経済産業局(※)、関東東北産業保安監督部東北支部(※)、東北地方整備局(※)、東北技術事務所(※)、北上川下流河川事務所(※)
 - ・江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会
大崎市、東松島市、美里町、涌谷町、加美町、松島町、色麻町、大郷町、大衡村、大和町、富谷市、大崎地域広域行政事務組合消防本部、塩釜地区消防事務組合消防本部、黒川地域行政事務組合消防本部、鳴瀬川総合開発工事事務所、鳴子ダム管理所

発表記者会：石巻記者クラブ、古川記者クラブ

問い合わせ先

北上川水系水質汚濁対策連絡協議会下流支局
江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会

【事務局】

国土交通省 北上川下流河川事務所 <http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/>
(住所) 石巻市蛇田字新下沼80 (TEL) 0225-95-0194 (代表)

副所長(技術) とやま ひさのり 外山 久典 (内線205)

管理課長 いわはな さとし 岩花 賢 (内線331)

令和2年度 水質事故対応講習会 開催場所位置図



(参考) 令和元年度 水質事故対応講習会 実施状況

①水質事故事例に基づいた水質調査

化学物質・毒物等を対象とした水質事故への対応方法や、pH試験紙、簡易水質測定、Do(溶存酸素)のキット、トルエン(燃料油系)の計測器について解説。



水質調査の説明

②油処理にあたっての留意事項

河川・湖沼では「中和剤の使用原則禁止」であることを解説。



中和剤使用の弊害



吸着マット性能の実習

③油を効率良く回収する方法

交通事故発生を想定し、路面→側溝→水路→小河川→大河川へと油が拡散してしまうと、回収までに時間と費用がかかることを解説。



路面における油回収方法



土のう積みによる油回収方法

④吸着型オイルフェンス設置

水路や小河川での油回収に有効な「吸着型オイルフェンス」の設置訓練。



オイルフェンスの設置訓練